

電子カルテに興味津津

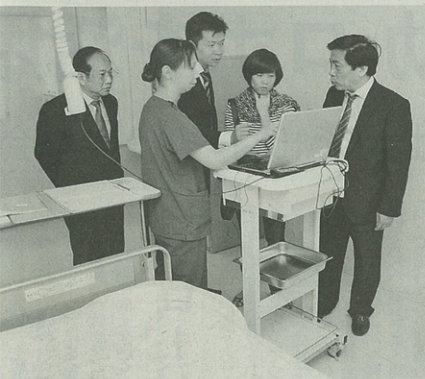
釧路ベトナムの医師病院視察

ベトナム国立小児病院の医師ら3人が17日、釧路孝仁会記念病院(釧路市愛国)の視察に訪れた。3人は再生医療の設備や集中治療室(ICU)などを見学し、電子カルテの仕組みなどに関心を示していた。

(安藤徹)

訪れたのはベトナムの首都ハノイにある国立小児病院のレ・タイン・ハイ院長はじめ副院長、国際協力部副部長。同病院は建て

えを計画しており、東京都岡山、兵庫などの病院への視察の一環。一行は釧路孝仁会記念病院の再生医療で使う細胞の培養室、患者が



入院する病棟、リハビリ室、ICUなどを視察した。リハビリ室では「ベトナム

ムではリハビリは重視されず、患者は手術後すぐに退院させられる」と違いに関心を示した。ICUでは電子カルテの仕組みに見入り、ハイ院長は「ベトナムの医療機関のカルテはまだ紙を使っている。こうした仕組みがあるといい」と目を見張っていた。